

分子分布を制御した水圏ペプチド超分子 の水和構造と細胞機能



若林 里衣
九州大学
助教

両親媒性ペプチド（PA）が水中で自己組織化し形成する超分子は、その形状・物性や PA の化学構造に応じた多彩な機能を発現します。本研究では、疎水部の異なる複数種類の PA を混在させ、超分子の形成過程に変化を与えることで、PA 分子間の相分離・共集合を制御した PA 超分子を創製します。これによって、PA に導入した機能性

因子の集合体内の分布を変えるだけでなく、超分子の水和状態や、それに付随する生体分子や細胞の吸着・接着

性がどう変化しうるかを解析します。

